

平成28年度

全国学力・学習状況調査結果について



平成28年9月

山口県教育庁義務教育課

目 次

1 教科に関する結果	P 1
(1) 全体の結果	P 1
(2) 各教科の結果	P 1
(3) 具体的な問題と解答状況	P 13
2 質問紙調査の結果	P 26
(1) 授業改善～児童生徒質問紙と学校質問紙との関連設問～	P 26
(2) 児童生徒質問紙	P 42
(3) 学校質問紙	P 59

《平成28年度全国学力・学習状況調査の概要》

- 目 的
- ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
 - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や、学習状況の改善等に役立てる。
 - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 調査期日 平成28年4月19日（火）
- 調査方式 悉皆調査
- 実施学校数・児童生徒数（山口県）
- | | | |
|---------|-----------------------------|---------|
| 【小学校6年】 | 公立小学校285校、特別支援学校2校 | 11,291人 |
| 【中学校3年】 | 公立中学校148校、中等教育学校1校、特別支援学校3校 | 11,651人 |
- 調査内容
- ①教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・問題A：主として「知識」に関する問題
 - ・問題B：主として「活用」に関する問題
 - ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査（児童生徒質問紙）
 - ・学校に対する調査（学校質問紙）

平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

1 教科に関する結果

(1) 全体の結果

小・中学校とも、国語、算数・数学のA・Bの全区分で、本県の平均正答率は、全国平均を上回っている。

(2) 各教科の結果

①全国の平均正答数、平均正答率との比較

【小学校】

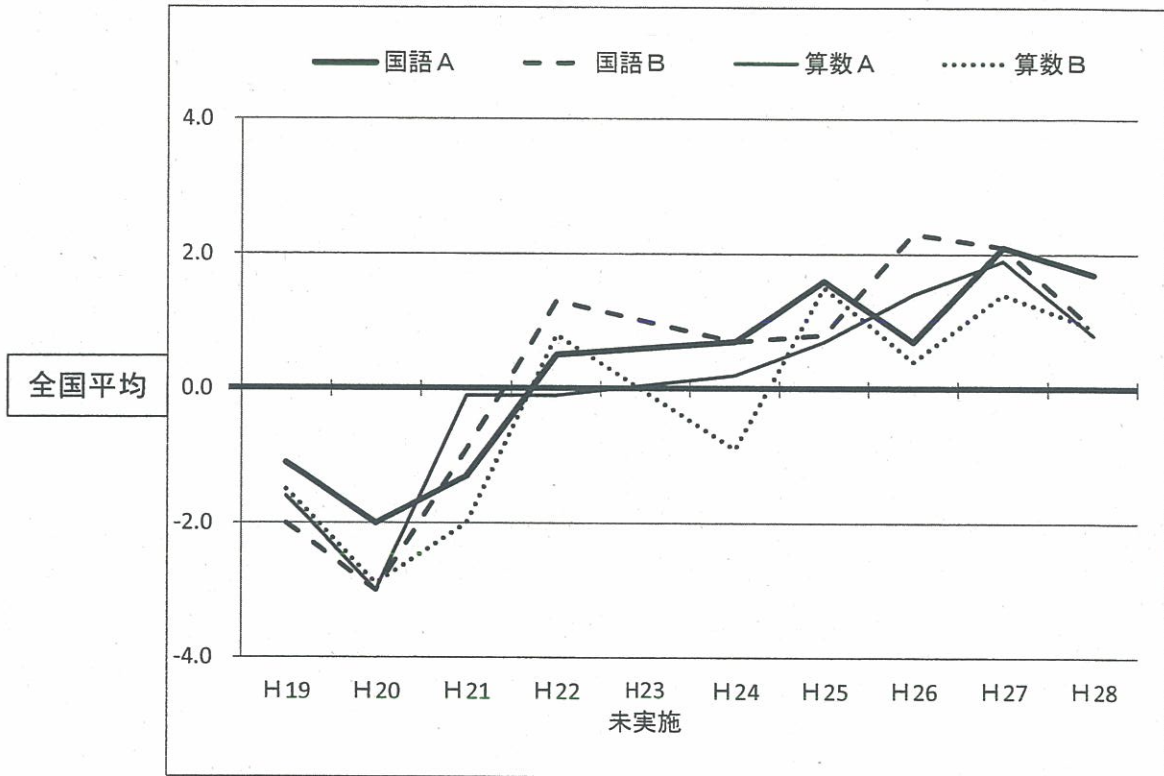
	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)		
	山口県	全 国	山口県	全 国	全国との比較
国語A	11.2/15	10.9/15	74.6	72.9	+1.7
国語B	5.9/10	5.8/10	58.7	57.8	+0.9
算数A	12.5/16	12.4/16	78.4	77.6	+0.8
算数B	6.3/13	6.1/13	48.1	47.2	+0.9

【中学校】

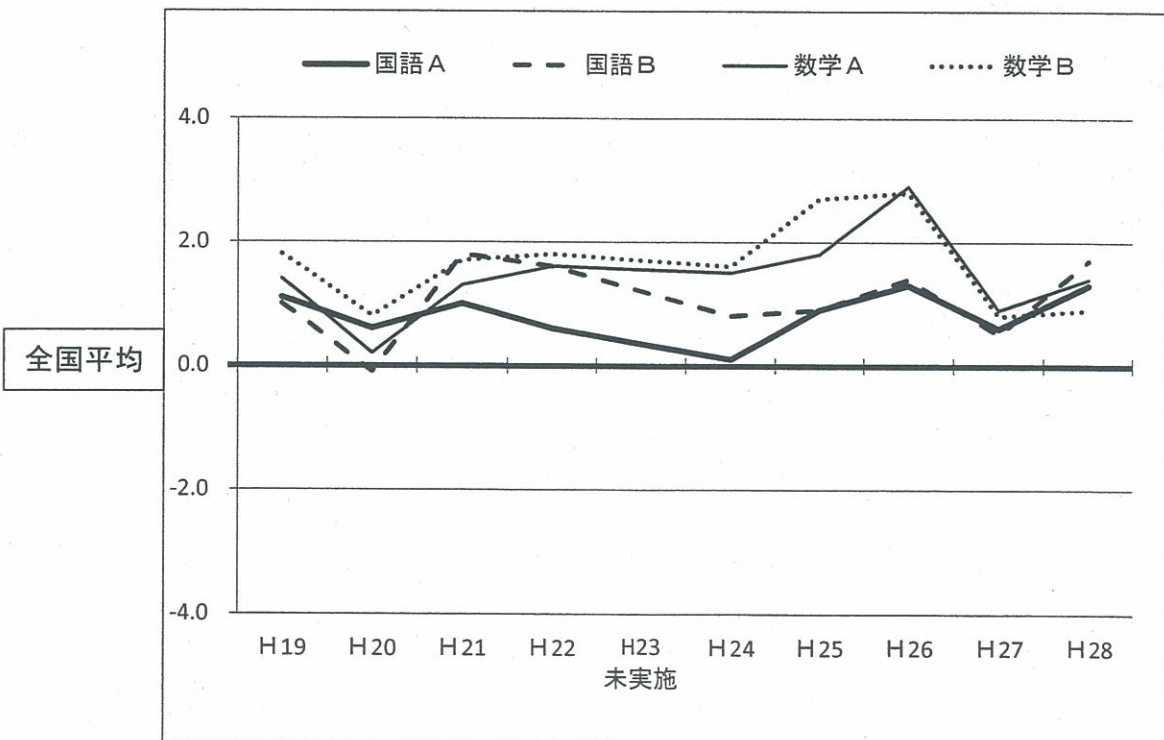
	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)		
	山口県	全 国	山口県	全 国	全国との比較
国語A	25.4/33	25.0/33	76.9	75.6	+1.3
国語B	6.1/9	6.0/9	68.2	66.5	+1.7
数学A	22.9/36	22.4/36	63.6	62.2	+1.4
数学B	6.8/15	6.6/15	45.0	44.1	+0.9

②全国の平均正答率との経年変化

【小学校】



【中学校】



〔参考〕過去の調査での平均正答数と平均正答率

【平成27年度】

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	10.1 / 14	9.8 / 14	72.1	70.0
国語B	6.1 / 9	5.9 / 9	67.5	65.4
算数A	12.3 / 16	12.0 / 16	77.1	75.2
算数B	6.0 / 13	5.9 / 13	46.4	45.0
理 科	15.0 / 24	14.6 / 24	62.7	60.8

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.2 / 33	25.0 / 33	76.4	75.8
国語B	6.0 / 9	5.9 / 9	66.3	65.8
数学A	23.5 / 36	23.2 / 36	65.3	64.4
数学B	6.4 / 15	6.2 / 15	42.4	41.6
理 科	13.3 / 25	13.3 / 25	53.0	53.0

【平成26年度】

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.0 / 15	10.9 / 15	73.6	72.9
国語B	5.8 / 10	5.5 / 10	57.8	55.5
算数A	13.5 / 17	13.3 / 17	79.5	78.1
算数B	7.6 / 13	7.6 / 13	58.6	58.2

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.8 / 32	25.4 / 32	80.7	79.4
国語B	4.7 / 9	4.6 / 9	52.4	51.0
数学A	25.3 / 36	24.3 / 36	70.3	67.4
数学B	9.4 / 15	9.0 / 15	62.6	59.8

【平成25年度】

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.6 / 18	11.3 / 18	64.3	62.7
国語B	5.0 / 10	4.9 / 10	50.2	49.4
算数A	14.8 / 19	14.7 / 19	77.9	77.2
算数B	7.8 / 13	7.6 / 13	59.9	58.4

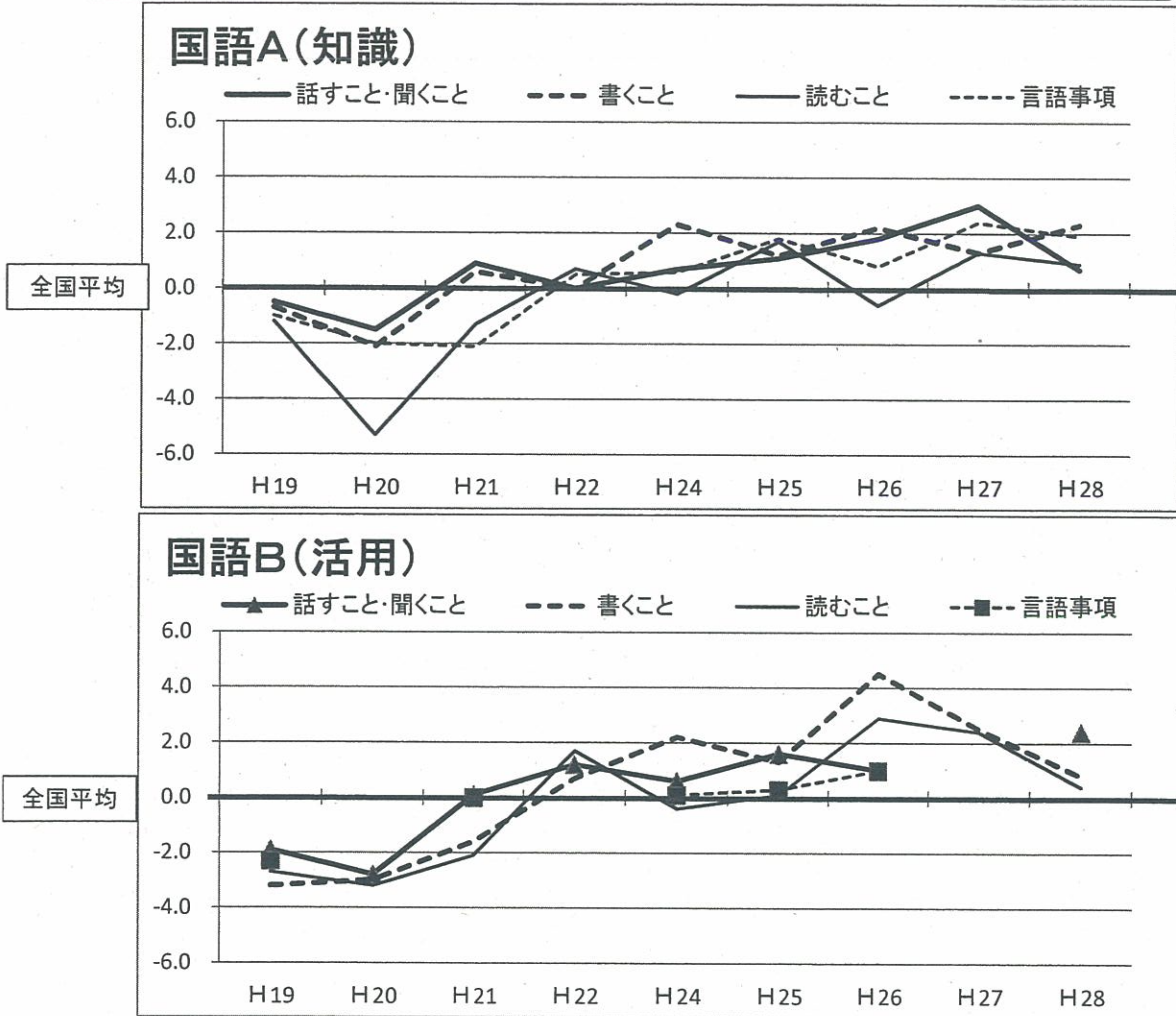
中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.7 / 32	24.4 / 32	77.3	76.4
国語B	6.1 / 9	6.1 / 9	68.3	67.4
数学A	23.6 / 36	22.9 / 36	65.5	63.7
数学B	7.1 / 16	6.6 / 16	44.2	41.5

※平成27年度は理科を実施

③領域別平均正答率の全国との比較【小学校】

【国語】

国語A・Bともに、すべての領域で全国平均を上回っている。国語Aの「書くこと」には成果が見られるものの、国語Aの「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語事項」、国語Bの「書くこと」「読むこと」など、多くの領域で、全国平均との差が小さくなっている。



【国語A:主として「知識」に関する問題】

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
話すこと・聞くこと	-0.5	-1.5	0.9	0.0	0.7	1.1	1.8	3.0	0.7
書くこと	-0.7	-2.1	0.6	0.0	2.3	1.2	2.2	1.3	2.3
読むこと	-1.2	-5.3	-1.3	0.7	-0.2	1.7	-0.6	1.3	0.9
言語事項	-1.0	-2.0	-2.1	0.5	0.6	1.8	0.8	2.4	1.9

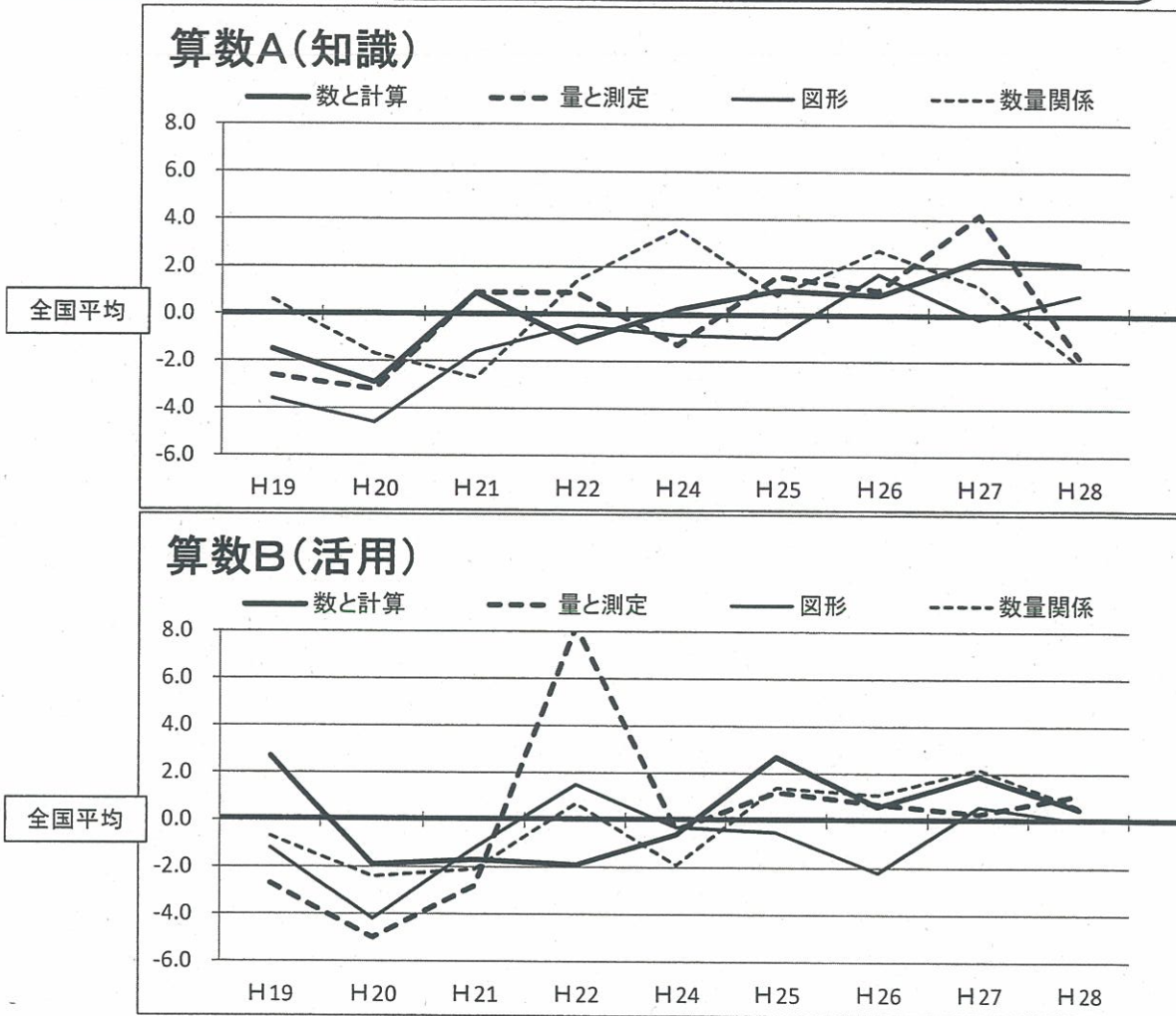
【国語B:主として「活用」に関する問題】

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
話すこと・聞くこと	-1.9	-2.8	0.1	1.2	0.6	1.6	1.0	2.4	2.4
書くこと	-3.2	-3.0	-1.6	0.7	2.2	1.3	4.5	2.5	0.8
読むこと	-2.7	-3.2	-2.1	1.7	-0.4	0.1	2.9	2.4	0.4
言語事項	-2.3	0.0	0.0	0.1	0.3	1.0	1.0	1.0	1.0

※ 言語事項とは、古典、文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容。平成24年度からは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」。

[算数]

算数Aでは、「数と計算」「図形」の領域は全国平均を上回っているが、「量と測定」「数量関係」の領域で全国平均を下回っている。算数Bでは、「図形」が全国平均と同じで、その他の領域は全国平均を上回っているものの、「数と計算」「数量関係」の領域は、全国平均との差が小さくなっている。



[算数A:主として「知識」に関する問題]

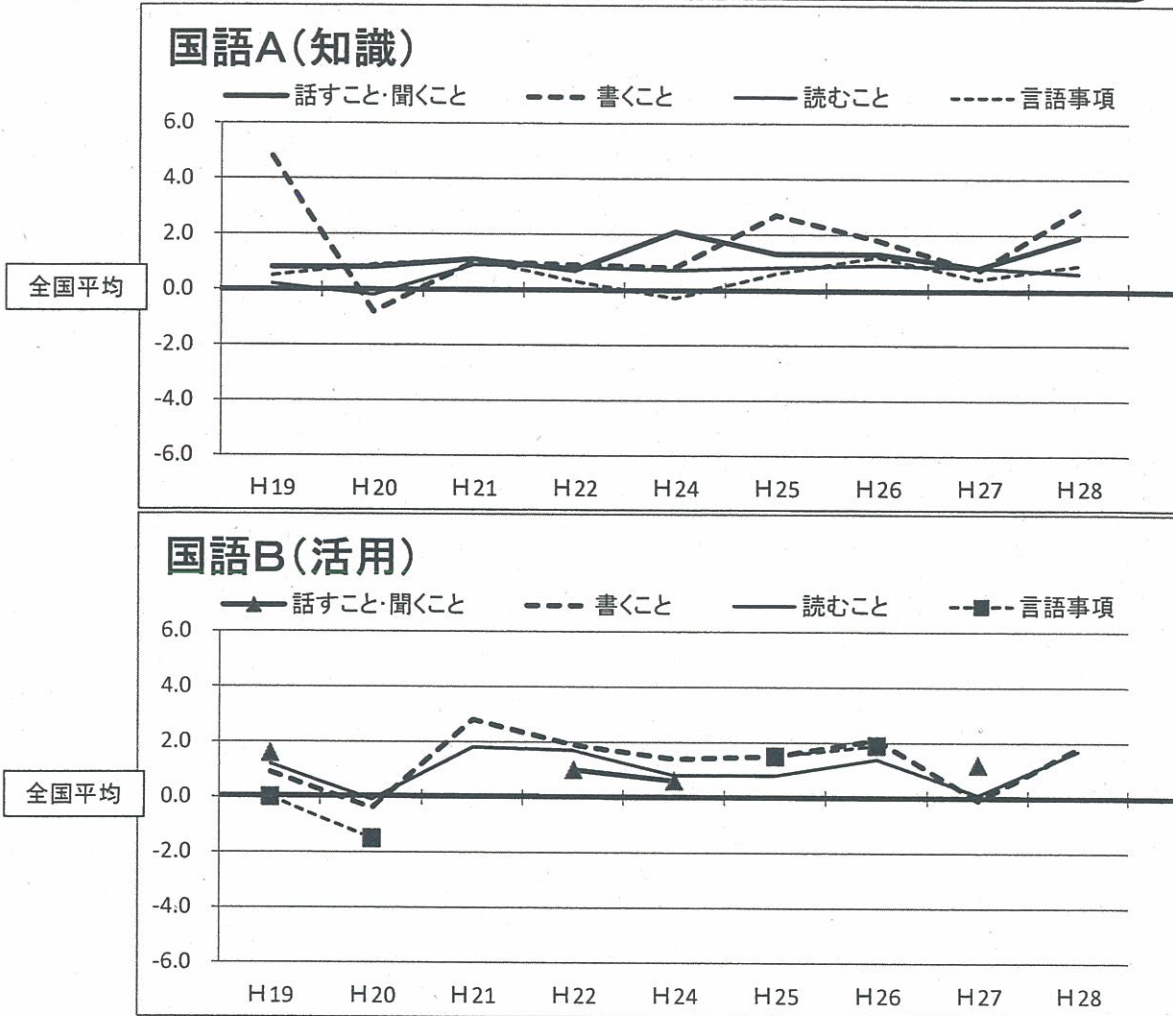
領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
数と計算	-1.5	-2.9	0.9	-1.2	0.2	1.0	0.8	2.3	2.1
量と測定	-2.6	-3.2	0.9	0.9	-1.3	1.6	1.0	4.2	-1.8
図形	-3.6	-4.6	-1.6	-0.5	-0.9	-1.0	1.7	-0.2	0.8
数量関係	0.6	-1.7	-2.7	1.4	3.6	0.8	2.7	1.2	-2.1

[算数B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
数と計算	2.7	-1.9	-1.7	-1.9	-0.6	2.7	0.6	1.9	0.5
量と測定	-2.7	-5.0	-2.8	8.2	-0.4	1.2	0.7	0.3	1.1
図形	-1.2	-4.2	-1.2	1.5	-0.3	-0.5	-2.2	0.6	±0
数量関係	-0.7	-2.4	-2.1	0.7	-1.9	1.4	1.1	2.2	0.6

④領域別平均正答率の全国との比較【中学校】
【国語】

国語A・Bともに、すべての領域で全国平均を上回っている。国語Aの「読むこと」は、全国平均との差が小さくなっているものの、他の領域はいずれも全国平均との差が大きくなっており、特に国語A・Bとも「書くこと」に大きな伸びが見られる。



【国語A:主として「知識」に関する問題】

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
話すこと・聞くこと	0.8	0.8	1.1	0.7	2.1	1.3	1.3	0.8	1.9
書くこと	4.8	-0.8	1.0	0.9	0.8	2.7	1.8	0.7	2.9
読むこと	0.2	-0.2	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8	0.6
言語事項	0.5	0.9	1.1	0.3	-0.3	0.6	1.2	0.4	0.9

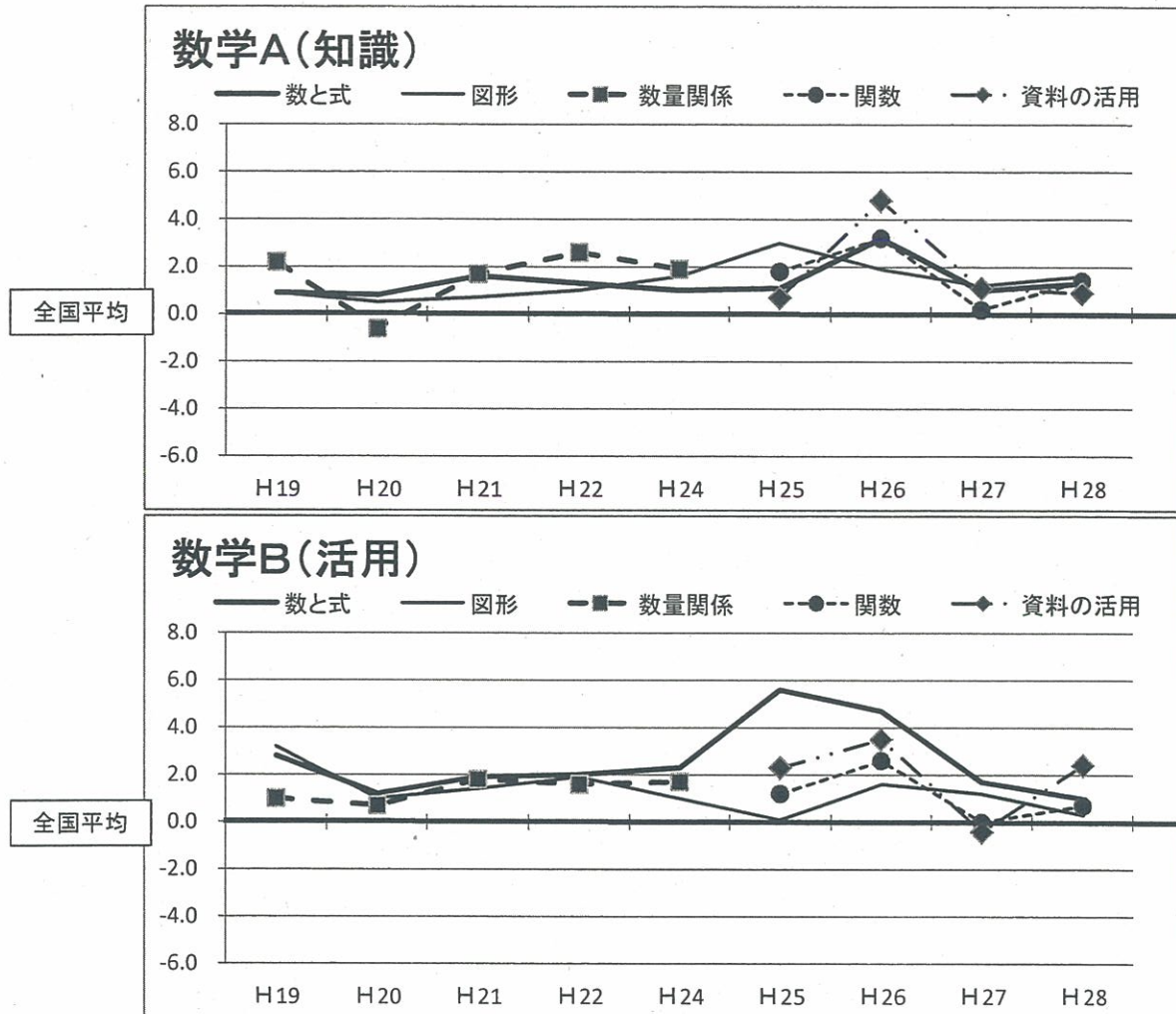
【国語B:主として「活用」に関する問題】

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
話すこと・聞くこと	1.6	/	/	1.0	0.6	/	/	1.2	/
書くこと	0.9	-0.4	2.8	1.9	1.4	1.5	2.1	-0.1	1.8
読むこと	1.2	-0.1	1.8	1.7	0.8	0.8	1.4	0.1	1.7
言語事項	0.0	-1.5	/	/	/	1.5	1.9	/	/

※ 言語事項とは、古典、文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容。平成25年度からは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」。

[数学]

数学A・Bともに、すべての領域で全国平均を上回っている。数学Aの「資料の活用」、数学Bの「数と式」「図形」は、全国平均との差が小さくなっている。一方、数学Bの「資料の活用」には、特に大きな伸びが見られる。



[数学A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
数と式	0.9	0.8	1.6	1.3	1.0	1.1	3.2	1.0	1.3
図形	0.9	0.5	0.7	1.0	1.6	3.0	1.9	1.2	1.6
数量 関係	2.2	-0.6	1.7	2.6	1.9	1.8	3.2	0.2	1.4
関数 資料の活用						0.7	4.8	1.1	0.9

[数学B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
数と式	2.8	1.2	1.9	2.0	2.3	5.6	4.7	1.7	1.0
図形	3.2	1.0	1.4	1.9	1.0	0.1	1.6	1.2	0.3
数量 関係	1.0	0.7	1.8	1.6	1.7	1.2	2.6	±0	0.7
関数 資料の活用						2.3	3.5	-0.4	2.4

※「数量関係」の領域は、平成25年度から「関数」と「資料の活用」の2領域に分けられている。

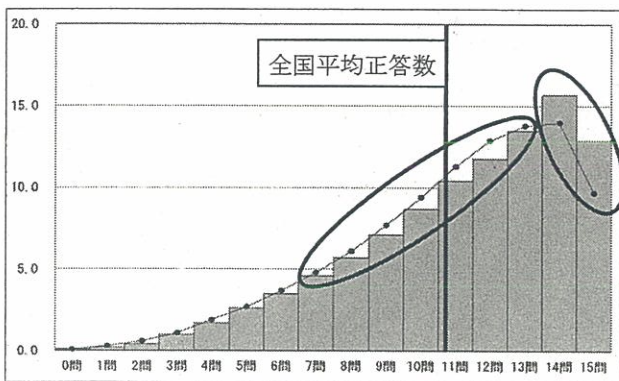
⑤正答数ごとの分布

【小学校 国語】

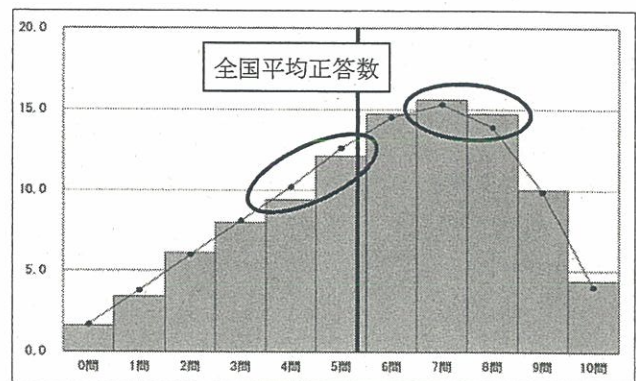
- 国語Aについては、全国と比べ正答数の多い児童の割合が高い。
- 国語Bについては、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや高く、正答数の少ない児童の割合がやや低い。

平成28年度

〔国語A〕（知識）

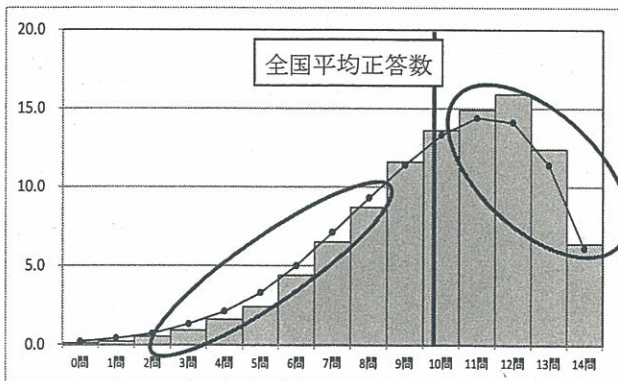


〔国語B〕（活用）

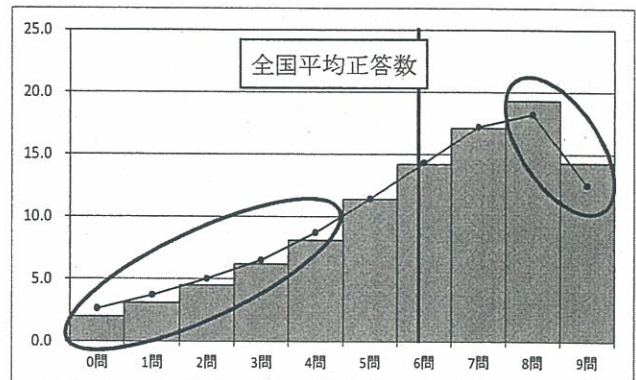


（参考）平成27年度

〔国語A〕（知識）



〔国語B〕（活用）



〔グラフについて〕

横軸は児童が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童の割合（％）を示している。

○ 望ましい部分

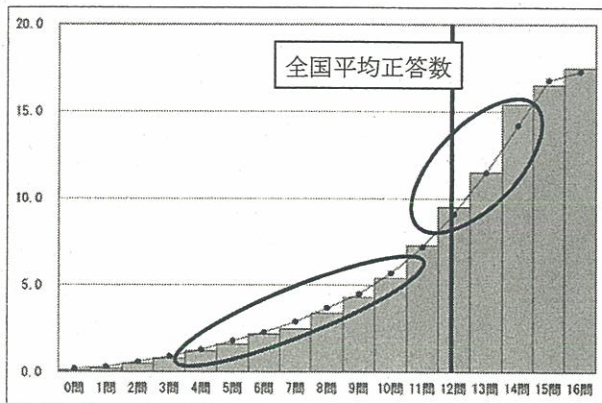
凡例
 山口県
 全国

【小学校 算数】

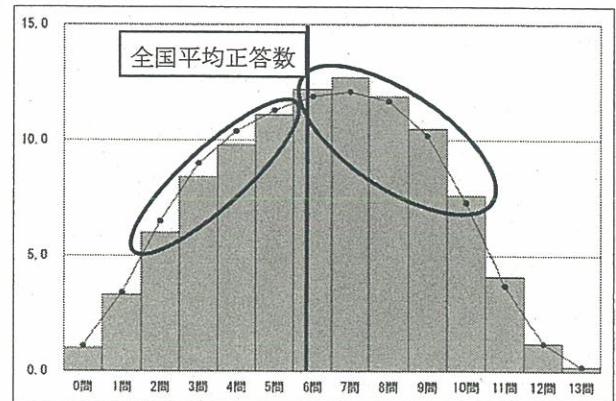
- 算数Aについては、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや高く、正答数の少ない児童の割合がやや低い。
- 算数Bについては、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや高く、正答数の少ない児童の割合がやや低い。

平成28年度

【算数A】（知識）

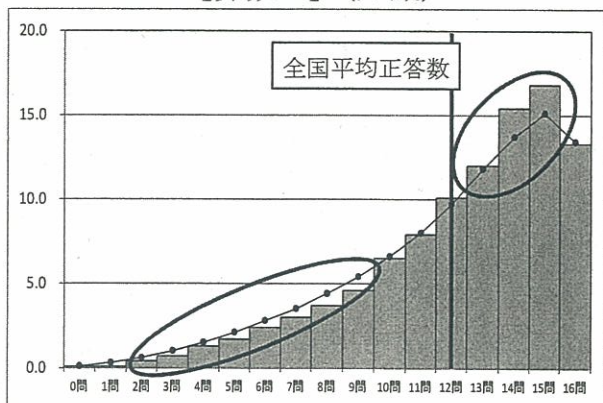


【算数B】（活用）

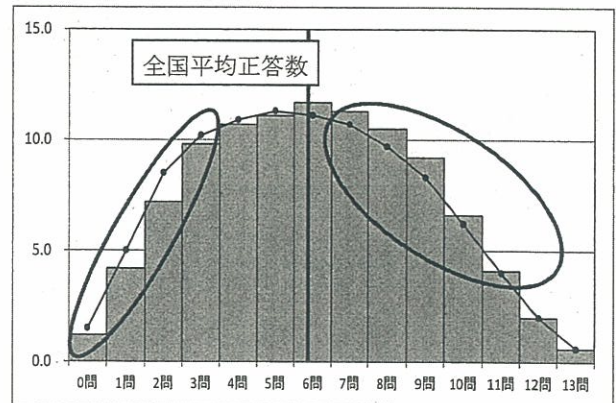


(参考) 平成27年度

【算数A】（知識）

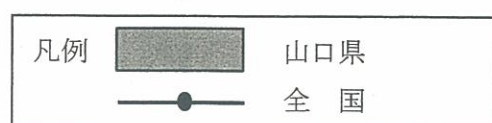
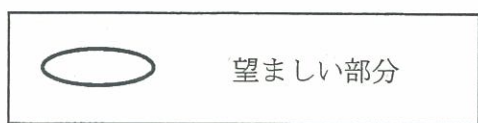


【算数B】（活用）



〔グラフについて〕

横軸は児童が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童の割合（％）を示している。

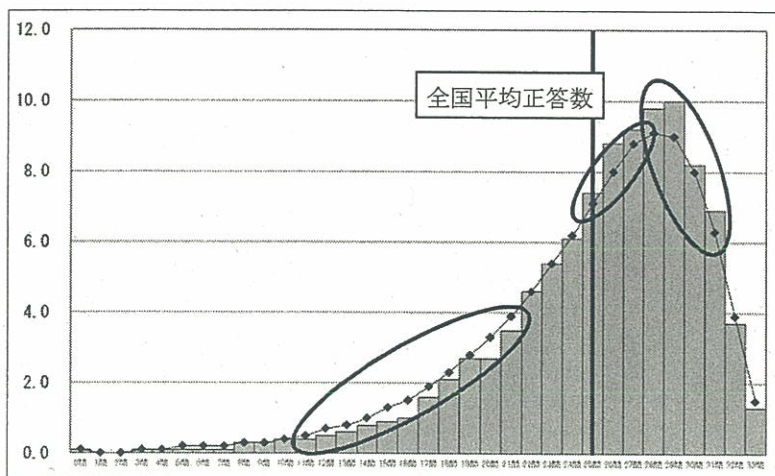


【中学校 国語】

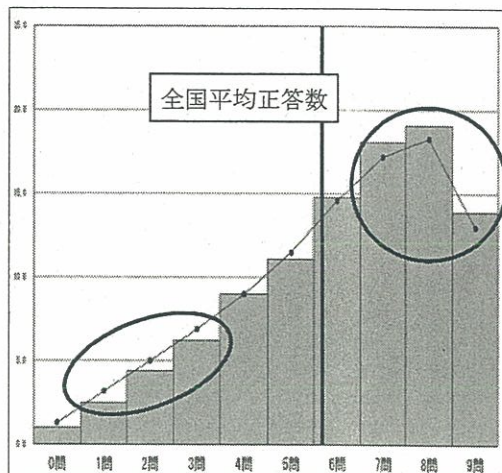
- 国語Aについては、全国と比べ正答数の多い生徒の割合が高く、正答数の少ない生徒の割合が低い。
- 国語Bについては、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高く、正答数の少ない生徒の割合がやや低い。

平成28年度

〔国語A〕（知識）

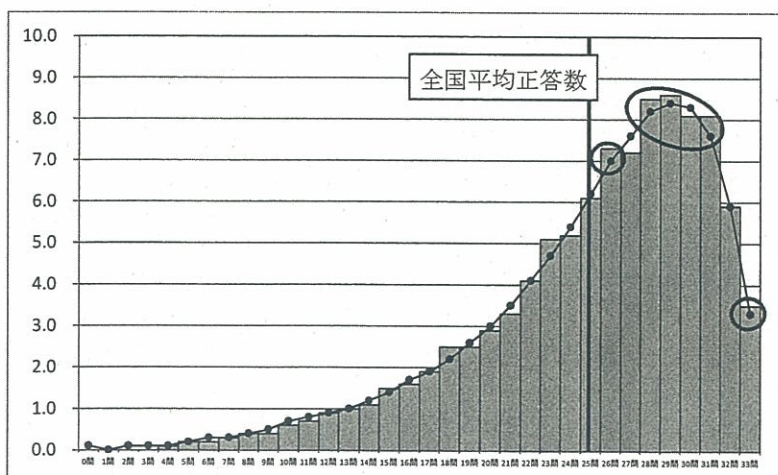


〔国語B〕（活用）

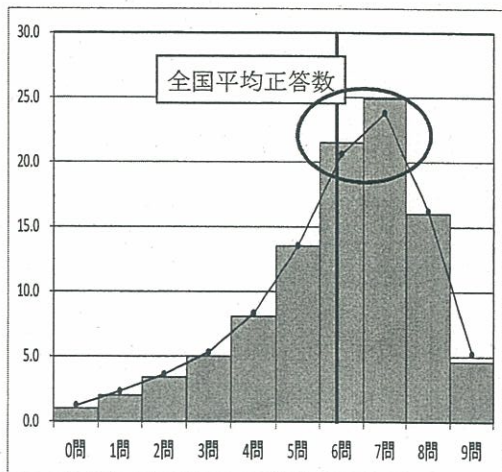


（参考）平成27年度

〔国語A〕（知識）

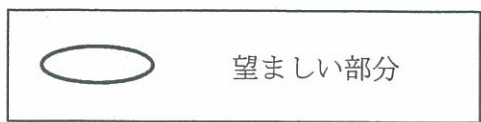


〔国語B〕（活用）



〔グラフについて〕

横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合（％）を示している。

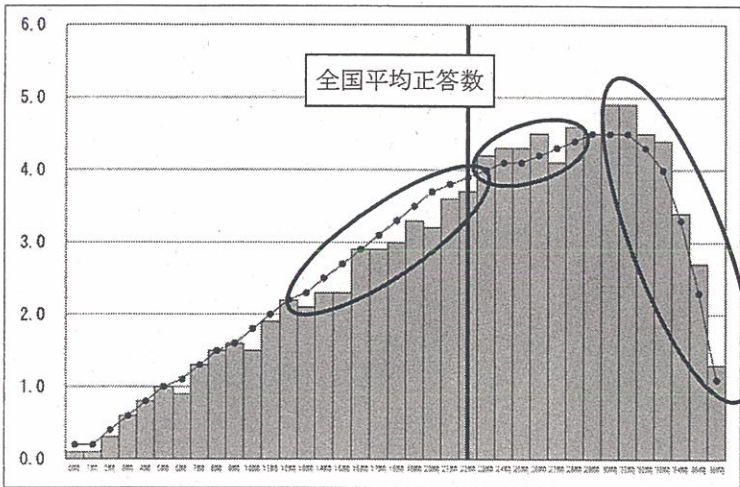


【中学校 数学】

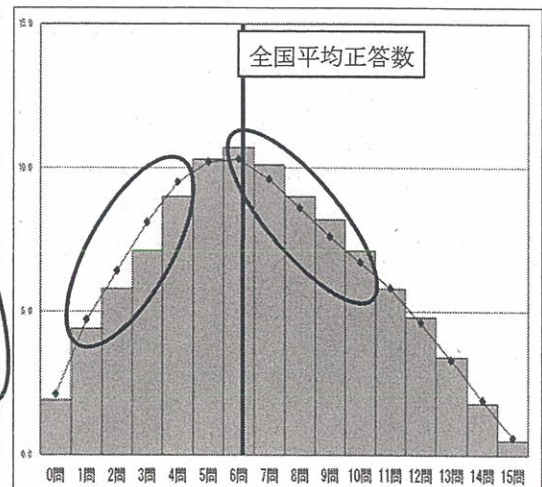
- 数学Aについては、全国と比べ正答数の多い生徒の割合が高く、正答数の少ない生徒の割合が低い。
- 数学Bについては、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高く、正答数の少ない生徒の割合がやや低い。

平成28年度

〔数学A〕（知識）

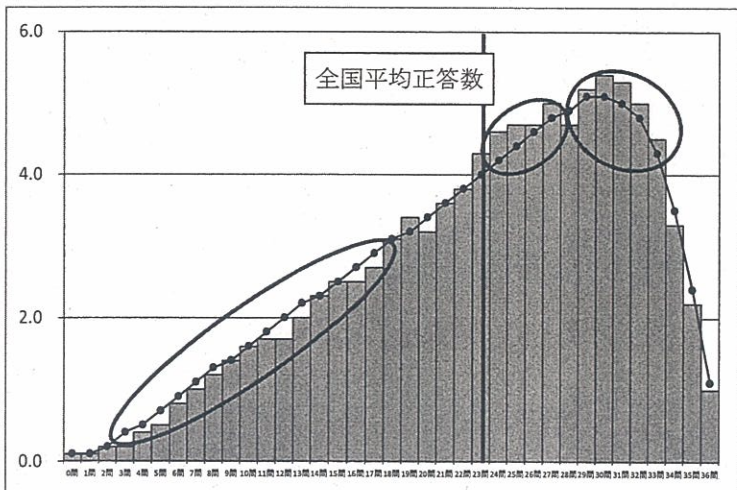


〔数学B〕（活用）

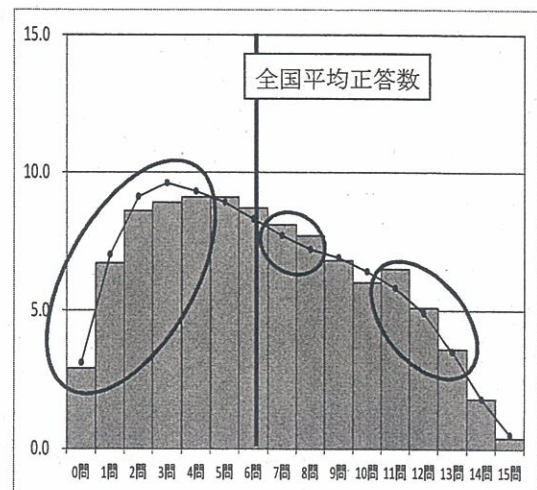


(参考) 平成27年度

〔数学A〕（知識）



〔数学B〕（活用）



〔グラフについて〕

横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合（％）を示している。

○ 望ましい部分

凡例
 山口県
 全国